

# インマヌエル中目黒キリスト教会 2013年10月27日聖日礼拝

---

「続・詩編23篇を思いめぐらす」

詩編23篇 1 - 6 節

河村従彦 牧師



# 聖書朗読

## 旧約聖書

### 詩編23篇 1 – 6 節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。

第二版の聖書はp849~/ 第三版の聖書はp926~

- 1 主は私の羊飼いです。私は、乏しいことがありません。
- 2 主は私を緑の牧場に伏させ、いこいの水のほとりに伴われます。
- 3 主は私のたましいを生き返らせ、御名のために、私を義の道に導かれます。
- 4 たとい、死の陰の谷を歩くことがあっても、私はわざわざを恐れません。あなたが私とともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖、それが私の慰めです。

- 5 私の敵の前で、あなたは私のために  
食事をととのえ、私の頭に油をそそいで  
くださいます。私の杯は、あふれています。  
す。
- 6 まことに、私のいのちの日の限り、いつく  
しみと恵みとが、私を追って来るでしょう。  
私は、いつまでも、主の家に住まいま  
しょう。

# 説教

## 「続・詩編23篇を思いめぐらす」

詩編23篇 1～6節

河村従彦 牧師



# 序 詩篇23篇の構造

牧者のイメージ 1～4節

客をもてなす主人のイメージ 5節

総括 6節

# I 鞭と杖で導かれる神さま

## A 鞭と杖の意味

- 1 「むち」と「杖」の区別
- 2 大まかな役割→問題になるのは「鞭」

## B 鞭の意味

- 1 だれもが受けたいとは思わないもの
- 2 神さまは神の民に鞭を当てるだろうか

## C 一つのニュアンス

神さまが弱さを覚えている正しい人を支え、逆に悪いことをした人がその報いを引き受けていることがわかれば、神さまはこの世界をご自分の秩序によって支配しておられると納得できるかもしれない



## D わたしたちの生きている現実

1 人間の苦悩 ～悪い人の上手な  
世渡り

2 神さまへの期待

## E 人間の組み立て

1 神さまのかたち

2 人間は正直にできている

もし正しく生きようとすれば……

もし自分から間違った生き方を  
しようとするならば……

## F 鞭のもう一つの面

1 他に人にふさわしい鞭が飛んで  
行かない場合

2 悪を喜ぶ自分のあり方？

正しい人が豊かな憐れみを受けるような  
配慮 → 牧者

## 「鞭」の意味

- 1 神さまが悪に対して下す天罰ではない
- 2 神さまは専制君主、残酷な裁判官ではない

Q ヘブル人への手紙12章は？

II 敵の前で食事を整えられる神さま

A 自分の窮状の認識

B この節が醸し出す違和感

クリスチャンが、自分を批判する敵の前  
でバーベキューを悠々とやっている  
イメージ

## C 神の民のエリートイズム

- 1 旧約の神さまの語りかけ
- 2 新約のイエスとパウロ

## D「敵の前で」の意味

- 1 敵の前で悠々とバーベキューをして  
いる自分の姿に陶醉することではない
- 2 人とは反対に、神さまは私のために  
食事を整えてくださる

## E 頭に注がれる油

- 1 旧約聖書の油注ぎ ～有資格者である  
ことの宣言
- 2 自分は特別だと思いたいという願望
- 3 クリスチャンの人生は神さまからの  
いただきもの
- 4 神さまの油を受けとめることができる  
スタンス

しめくりに

愛の神さまの生きておられる世界  
→それが私の慰めです